

家庭科の評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活の工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・発表 ・授業の準備 ・提出物 ・定期テスト ・実習、作品 ・実習記録、自己評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・発表 ・課題・提出物 ・実技 ・定期テスト ・実習、作品 ・学習プリント 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・課題・提出物 ・定期テスト ・実技、発表 ・実習、作品 ・学習プリント ・実践レポート

家庭科の学習の仕方

家庭分野は、日常の生活を豊かにするための学習です。ただ、知識を暗記するのではなく、自分で問題をみつけ、実践したり、人とかがわりながら学び、それを生活に生かしていきましょう。

ものや人とかかわりながら学ぼう

「課題をもって、生活を豊かに創造していく力を身につけるために」

生活をもつめ問題をみつけよう

・知りたい・工夫したい・やってみたい・なぜだろう・どうしたらよいだろう



行動しながら調べてみよう（フィールドワークをしよう）

・話を聞く・訪問して調べる
・教科書や本なども調べよう・図書館、新聞、インターネットなども利用しよう



やってみよう・つくってみよう

・計画を立て、用具、材料を用意して実行する



考えをまとめて発表しよう（交流し合おう）

・友人と交流する・自分の考えを形にする・教室以外の場所（新聞など）で発表する
・調べたことや実行したことを、伝えたり、発表したりする



生活に生かそう

・学習したことを日々の生活に生かす

<家庭で>

授業で知ったこと、学んだことを実際の生活の中で生かし、実践していこう。今までは家族の方にやって頂いたことなかで、授業を通してできるようになったことを一つずつ実践していこう。そうすることにより自分自身の自立への一歩となります。そして、家族の一員として家庭生活を支える役割を果たすことができます。（実践レポートを提出しよう）

<授業の用意>

教科書・ワークノート・ファイル

<被服実習で必要なもの>

裁縫用具

<調理実習で必要なもの>

エプロン・三角巾（バンダナなど）・ふきん（各自2枚）・マスク